

ガールズパワーがこの世界を変えていく。

人口の半分を占める
女性たちの力を信じていないのなら
その国は片方の翼で
飛んでいるようなものです。
でも、鳥はひとつの翼では飛べない。
ふたつの翼が必要です。
私は娘の翼を折らなかつただけ。

ジアウディン・エスフザイ
(マララ・エスフザイの父)

2019.11.16 Sat

会場 / くまもと県民交流館パレア

内容 / 1.5 女子校生徒による研究発表

II. 講演

III. 公開討論会 (有識者 × 女子高生 × あなた)





これまでの活動

■ 小児がん治療支える『レモネードスタンド』募金活動を定期的に実施

人の為になる喜び・やりがい



社会貢献できる自信



■ 名古屋南山高等・中学校との交流

社会参画への高い意識と自覚
を持った女子高生との出会い



【テレビ会議システムでディスカッション】

私も社会の一員であり、未来の
担い手になりたい



【2週間の国内留学】



女子高生のなぜ？

なぜ、医学部入試女子一律
減点問題はおこったの？

なぜ、日本には1人も
女性の首相がないの？

なぜ、日本は先進国なのに、
性差が大きいなの？

なぜ、地域によって、学力や
将来に対する意識の差が
広がってるの？



なぜ「高学歴は嫁に行けない」
ってお父さんは言って、東京
大学への進学を反対するの？

2019.11.16 Sat.

魅力ある社会を一緒につくっていきましょう!!

会場 / くまもと県民交流館パレア

内容 / Ⅰ.5女子校生徒による研究発表

Ⅱ. 講演会

Ⅲ. 公開討論会 (有識者×女子高生×あなた)

県内外の高校生、大学生、留学生、県民・市民の方 大歓迎!!



女子高生サミットにこめる思い

私たち高校生は、「未来」に向き合っています。その「未来」とは、どのようなものでしょうか。少なくとも、「未来の形」が今までより予測困難なものになっているのは確かだと思います。少子高齢化、貧困問題、中央と地方の格差、持続可能な社会の実現など、取り組まなければならない問題は多く、しかも複雑にからみあっています。

その解決のためには、より多様で柔軟な思考が求められます。

私たちが直面している課題の一つに、「女性の社会進出」があります。進路の方向はさまざまですが、数年後私たちは確実に社会に出ることになります。その時、私たちは十分に自分の個性や能力を発揮することができるでしょうか。2014年から2016年にかけて、正規・非正規共に女性の雇用者数は増加してきました。他方で、働く女性の出産や育児を支える制度はまだ整っていないと言えます。また、最近では大学進学において、男女の間に大きなハンディキャップの設けられていたことが問題になりました。

私自身は、これまで男子との扱いの差を感じたことはありません。男女を問わず自分の意見を主張し、各々の考えが尊重されることを当たり前だと考えてきました。しかし、社会の様々な問題を知るにつれて、女子高校生として自分がこれから進んでいく「未来の形」「社会の形」を、より深く考えたいと思うようになりました。

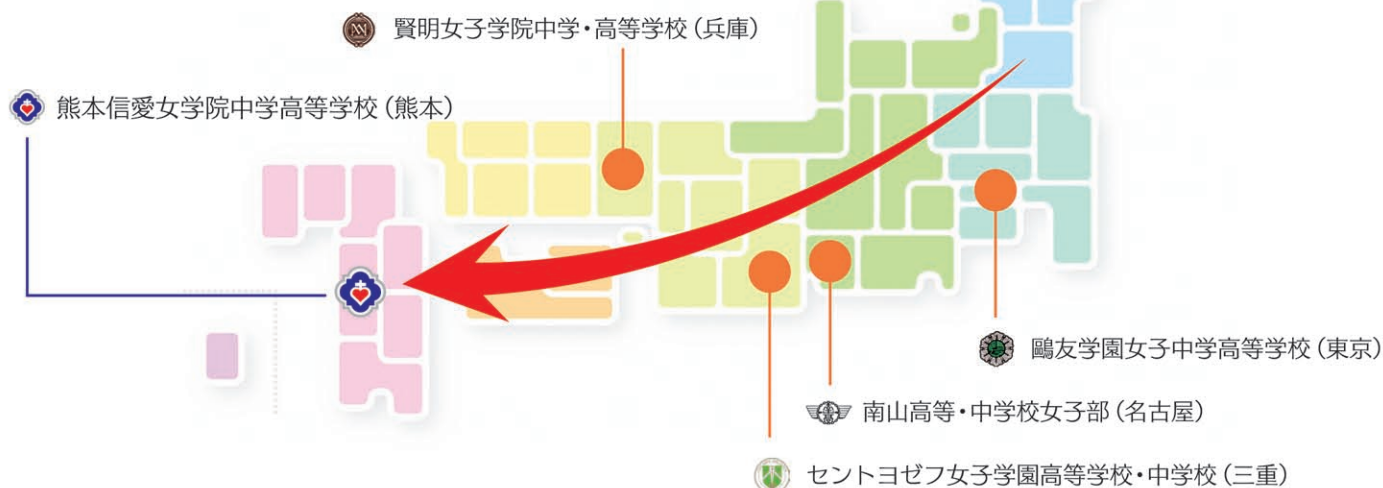
その第一歩として、『女子高生サミット in KUMAMOTO』を開催します。

ここでは県内外の高校生と議論の場を持つだけでなく、有識者の方々や大学生・留学生、県民市民の皆様など、様々な方々と意見を交換し、自分たちのこれからの生き方を模索したいと考えます。今までの「常識」だからという理由で古い枠組みにとらわれるのではなく、よりよい社会の実現に向けて、多様で、自由に考えることを望みます。

もちろん、私たちだけでできることは限られています。多くの方々との結びつき（ネットワーク）を通じて、あるべき「未来の形」に進んでいく第一歩となれたら、と願っています。

全国から5校の女子校が熊本に集結!!

県内外の中高生、大学生、留学生、
県民・市民の方の参加、大歓迎!!
討論会への参加もお待ちしております。





熊本の人材を育てるために…今、熊本が1つにつながる



未来を築く「力」

熊本信愛女学院中学高等学校
校長 山田和徳

本校は1900年にフランス人宣教女メール・ボルジア先生によって創立されて以来、理想の女性教育を求めながら、本県・本市の教育に微力ながら携わってまいりました。特に近年では、男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人が主体性を確立し、それぞれの可能性を最大限に伸ばして自己形成を図ると共に、女性としての豊かな心を持って、社会の建設に貢献する人間を育成することを基本理念として進んできました。その中で、まず私たち自身が意識改革していくと共に、生徒を取り囲む地域や家庭などと手を携えて取り組んでいくことが大切であると痛感するようになりました。

そこで、昨年度より熊本県私学振興課の御支援の元、先進的な女子教育に携わっている他校との交流事業を進めてまいりました。今年度は「女子のキャリア教育」をテーマとして全国に規模を拡大した『女子高生サミット in KUMAMOTO』の開催を企画しております。女子高校生が現在直面している困難や課題について、率直に話し合い、思いを共有し合うことで、次代を開く力を生み出せたらと考えております。

今、その実現に向けて本校の生徒達は奔走しています。その姿を見ると、新しい未来を創り出す潜在的な力が彼女たちにあることを、実感せずにはられません。社会全体が旧来の枠組みを脱して転換を遂げようとしている今、私たちもまた歩みを共にしながら次世代を築いていきたいと願います。

本事業では「熊本の未来を担う、熊本の女子高生を、熊本で育てる」ことを目的とし、高校生という「推進力」と行政や研究・教育機関や各企業との協働により、本県の女子教育に貢献したいと考えております。

『女子高生サミット in KUMAMOTO』の趣旨を御理解いただいた上で、御支援と御協賛賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「男女共同参画社会」応援企業(団体・個人)募集

「女子高生サミット in KUMAMOTO」の趣旨をご理解頂き、ご賛同のうえ、ご協賛をお願いします。

- ◆ 企業団体：一口1万円 個人：一口2千円
- ◆ 当日のプログラムに協賛リスト、広告を掲載させていただきます。



熊本信愛女学院中学高等学校

〒860-8557 熊本市中央区上林町3番18号

TEL:096(354)5355 FAX:096(324)7292

